



令和3年8月19日
No.95

社協だより



令和3年度

ふれあい・いきいきサロン 介護予防活動実施団体 交流会



この交流会は、市内のふれあい・いきいきサロンや介護予防活動実践団体を対象として、介護予防に効果的なプログラムや運営方法等についての情報交換を行うことにより、介護予防活動の本来の目的を共有し、地域での活動の活性化と円滑な運営を図ることを目的として例年実施しています。

今年は、7月16日(金)に大田市民会館大ホールで、講師に奥田祐子さん(特定非営利法人いきいきアクティビティサービス理事長)をリモートで迎え、「コロナ禍でもサロンで活用できるレクリエーション活動」と題して、開催いたしました。

参加者87名が間隔を空けて座りながら、みんな楽しんで「指の体操」「イラストクイズ」

画面に映っているイラストはなにかな？



「タオルを使った体操」などのレクリエーションをご指導いただきました。

参加者からは、「初めてのリモートの講義でしたが、楽しく受ける事が出来ました。今後のサロン活動に取り入れていきたいと思います。」「コロナの感染を第一に考えると何をしたいか困っていたので、自分達でも取り入れられるヒントが沢山ありました。」などの声をいただきました。

また、当日はひとり一品運動を行い、多くの皆様からご家庭で眠っている食品を寄付していただきありがとうございました。

令和
2年度社会福祉法人
大田市社会福祉協議会
事業報告

1. 事業概要

新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な行事、イベントの自粛や中止、学校の休校措置、テレワークの推進、飲食店の時短営業やテイクアウトの推進など、人々のそれまでの日常生活は一変しました。現在では、三密の回避、マスクの着用、手指消毒の徹底など定着した感染予防対策がとられています。人々が集まる機会や人と人とのつながる機会は激減し、このことが地域社会の中において、とりわけ生活課題を抱えながら不安な日々を過ごす人々の孤立化につながり、支援が届きにくい状況が生まれました。

本会においても、飛沫防止パネル、消毒液の設置など事務所内の環境整備を進めながら対応をしてきましたが、予定した活動や行事をやむなく中止したり、会議や研修なども書面による開催やリモートでの開催などに切り替わったものが多くありました。

このようなコロナ禍における

特別な一年ではありましたが、社会福祉法に規定された本会の使命である「住民参加による地域福祉の推進」の取り組みを止めることのないよう活動を推進しました。令和3年度から新たに取り組む「第3次大田市地域福祉計画・大田市地域福祉活動計画」を策定し、地域共生社会の実現に向けた包括的な総合相談体制の構築など重層的支援体制の整備に取り組むことを明確にしました。

地域福祉支え合い推進事業では、生活課題の解決へ向けた多機関協働による分野を超えたつながりづくりに取り組んだほか、コミュニティソーシャルワーカーを配置し、個別支援と地域をむすび、地域福祉活動の支援強化と増進を図りました。生活サポートセンターおおだでは、新型コロナウイルスによる生活困窮者への支援策が打ち出されたことにより、生活福祉資金の特例貸付などにより多くの方々の生活相談に対応するとともに、利用者の方々の生活再

建に向け伴走型の支援に取り組みました。

権利擁護の推進では、日常生活自立支援事業や大田市成年後見支援センター事業などに取り組むとともに、成年後見制度利用促進計画が策定されたことにより、権利擁護の地域連携ネットワークの構築や中核機関としての役割が明確になりました。

生活支援体制整備事業、地域介護予防活動支援事業では、20地区において高齢者の通いの場づくりに取り組まれているほか、地区社協をはじめとしたサロンなどの地域活動において、誰もが役割を持って社会参加できる環境づくりや住民主体の支えあいの体制づくりによる地域包括ケアシステムの構築を推進しました。

以上、令和2年度事業計画のもと、地区社会福祉協議会・自治会をはじめ民生児童委員協議会、各関係機関・団体のご協力をいただきながら各種事業を実施いたしました。

2. 実施事業

推進目標1

住民参加による地域福祉活動の推進

(1) 地区社協を中心とした住民主体の地域づくりの推進

◇地区社会福祉協議会連絡会議の開催（延べ参加者：54名）

◇地区社協活動支援事業

(1) 各地区社協と地区担当職員が連携して地域活動に関する研修会を実施
延べ参加者：308名
（実施地区：24地区）

(2) 地区社協の事業計画に基づいた

地域活動に係る事業経費の助成
◇福祉委員活動の推進

◇CSW設置事業・地域福祉力アップ推進事業

① コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置
② コミュニティソーシャルワーカー（CSW）活動の推進に向けた体制の整備

③ 地域福祉力アップ推進事業
（実施地区：12地区）

（延べ参加者数：371名）

(2) 住民自主組織の活動支援

◇ふれあい・いきいきサロンづくり活動推進事業

（指定サロン）1サロン
（朝山町・峠のサロン市場）

（令和2年度末現在のサロン総数）112サロン

◇地域介護予防活動支援事業

（介護予防活動実施団体）148団体
(1) 元気づくりプログラム研修事業
（5会場 延べ参加者：91名）

(2) 活動団体への訪問指導
（訪問回数 延べ78回）

◇生活支援体制整備事業

〈協議体の設置状況〉20地区

〈訪問地区数〉24地区

〈延べ訪問回数〉

会議・研修等への参加 53回

相談・打合せ等の訪問 709回

生活支援コーディネーター情報

交換会等の開催

地区協議体・生活支援コーディネーター研修 3回

〈スタッフ研修会の開催〉2回

〈移動・外出支援に関する地域活動助成事業〉2地区

◇子育て支援団体連絡会への支援

〈子育てサロン訪問回数〉8回

◇レクリエーション用具等貸出し事業

①福祉体験学習用品(疑似体験等)

貸出し／2件(学校、地域自主

防災会)

②軽スポーツ・レクリエーション

用具貸出し／254件

③機材等の貸出し／88件

(3)住民相互の助け合い意識の啓発と

つながりづくり

◇高齢者の見守り活動に関する協

定に基づく連携(対応件数1件)

◇地域福祉研修会の開催(参加者

146名)

(4)地域福祉活動への住民及び施設・

団体等の参加促進

◇障がい者社会参加促進事業

・福祉講演会(参加者45名)

◇障がい者週間啓発事業(構成団

体の事業活動紹介の動画作成)

◇健康・生きがいづくりフェスティ

バルの開催支援

・実施団体：5団体

(大会参加者：209名)

◇大田市社会福祉法人連絡会の設

立(17法人・事業所)

◇大田老人福祉センター管理運営

事業

・利用団体総数 631団体

・利用者総数 11,433人

◇団体等事務局の受託

・大田市民生児童委員協議会

・日本赤十字社島根県支部大田市

地区

・大田市共同募金委員会

(5)共同募金運動への協力

◇助成金配分実績額

5,595,780円

推進目標2 在宅生活の自立を支える活動の推進

(1)関係機関との連携による相談体制の充実

◇ふくしよろず相談窓口の設置

〈新規相談受付件数〉420件

〈受け付けた相談の処理状況〉

・課題解決／80件(情報提供のみ

による終了も含む)

・関係機関・制度につないだ／

250件

・中断等／1件

・継続対応中／89件

◇司法書士相談及び石見法律相談

センター相談会(パソコン法律

相談)

司法書士相談 12回 22件

パソコン法律相談 9回 23件

◇外国語通訳(インターネット電

話)しまね国際センターとの連携

(2)包括的支援の充実

◇生活困窮者に対する支援(生活サ

ポートセンターおおだの取組み)

〈自立相談支援事業〉

①新規相談者数 101名

(男性：68名、女性：33名)

②新規相談内容延件数 284件

③緊急一時的支援の実施状況

178件

④初期対応状況(初回スクリー

ニング実施時の状況)

・自立支援計画(プラン)策定

前支援終了件数 23件

⑤自立支援計画(プラン)策定

及び評価状況

支援調整会議を毎月1回開催

し、支援方針を確認し決定

支援決定、確認件数 36件

・プランの評価実施件数 22件

⑥支援状況

支援延件数 1,861件

・資金貸付

(生活福祉資金、民生融金)

・家計改善支援、就労準備支援

の利用

・住居確保給付金の利用(5件)

・生活保護受給者等就労自立促進

事業の利用における職安と連携

(支援対象者5件に対し、2

件支援要請)

・生活物品の貸出

⑦研修及び会議

・職員の資質向上のため外部研

修に参加

・関係機関との連携に関わる会

議に参加

〈家計改善支援事業〉

・利用件数 11件

・相談従事者の資質向上のための

「家計改善支援スキルアップ研

〈就労準備支援事業〉

・利用件数 1件(社会とのつな

がり応援事業の活用、職場見学)

・職場体験、職場見学協力事業所

の開拓

◇資金貸付事業

①生活福祉資金貸付(実施主体：

県社協)

・貸付相談支援延件数

1,193件

・貸付決定数 265件

(うち、新型コロナウイルス特

例貸付件数：252件)

・貸付金額 71,766,000円

(うち、新型コロナウイルス特例

貸付金額 65,338,000円)

②民生融金貸付(生活資金・緊急現金)

・貸付実績 20件 200,000円

・償還状況

償還件数／51件

償還金額／373,000円

償還完了件数／21件

・不能欠損処分

8件 145,000円

◇フードバンク事業(寄付食料品

備蓄による困窮者への食料支援)

・食料寄付件数 56件

(団体13件、個人43件)

・食料支援件数 192件

(生保世帯等含む)

◇生活物品の貸出

・貸出し利用者数 1名

(貸出物：冷蔵庫、洗濯機、炊飯器)

◇総合的な相談支援体制づくり事

業(大田市地域福祉支援会合い推

進事業)

①事業推進プロジェクト会議の開

催(13回)

② 大田市地域福祉推進支援機関実務者会議の開催（11回）

③ 相談支援包括化推進員の配置

④ 関係機関向け研修会の開催（1回 参加者：11機関35名）

(3) 個別課題に基づく地域づくり

◇ ところのたより発送事業

（対象者）1,869名

◇ 重度身体障がい者移動支援事業

（利用登録者数）152名

（休止中の方も含む）

※ 内新規利用登録者 10名

（実利用者数）15名

（年間延べ利用者数）79名

（年間稼働日数）73日

（ボランティア登録者）38名

（ボランティア延べ活動者数）148名

◇ 学生服等再活用事業

・ 寄付者数 5名から24品

・ 提供世帯数 3世帯

(4) 当事者団体などへの支援

◇ 大田市身体障がい者福祉協会事務局受託

◇ 大田市障がい者関係団体連絡協議会事務局受託

◇ 大田市シニアクラブ連合会活動支援

◇ 家族相談員紹介事業

（相談件数 99件）

◇ 福祉バス運行事業（利用団体数：14団体 運行回数：44回）

(5) 福祉事務所をはじめとする関係機関・団体との連携に向けた会議等への参画

16の協議会や連絡会へ参画

推進目標3 ボランティア活動の推進

(1) ボランティア人材の養成とスキルアップ

◇ ボランティア交流事業

・ 第6回縁力フェおおた

（参加者5名）

◇ 奉仕員養成事業

① 点訳奉仕員養成講座

（全12回 受講者3名）

② 広報音訳ボランティア養成講座

（全5回 受講者7名）

◇ 地域福祉活動サポーター養成事業

① 聞こえのサポーター講座

（2回 受講者7名）

② 移動介助ボランティア養成講座

（1回 受講者5名）

◇ ボランティア・市民活動センターの運営

・ 個人、団体及び施設行事へのボランティア依頼／1件

（延活動者数：7名）

・ 食育活動ボランティア依頼／36件

（延活動者数：7名）

◇ ボランティア活動に関する相談・支援体制の強化

◇ ボランティア保険に関する手続き事務

① ボランティア活動保険

（事故対応2件）

加入者数：1,511名

（基本プラン）1,448名

（天災プラン）63名

② 送迎保険（事故対応0件）

加入件数：27件

③ ボランティア行事用保険

（事故対応3件）

加入件数：211件

（1,266事業分）

(4) 福祉サービス総合保障（事故対応1件）

加入件数：25件

◇ 収集ボランティア活動の推進

・ 使用済み切手の収集／18件

・ 送付先：誕生日あたりがとう運動本部（障がい者福祉活動の啓発）

・ プルタブの収集／47件

・ 送付先：大田高校JRC部「プルタブを集め車イスに交換活動」

・ ペットボトルのキャップの収集／28件

・ 送付先：NPO法人エコキャップ推進協会（内閣府認証に送付）

◇ 民間助成事業に関する情報提供等

・ 山陰中央新報社会福祉事業団「愛のともしび募金」助成事業申請事務

※ 大田市から7団体申請し、5

団体が決定

(3) 災害時に備えた地域住民及び関係機関とのネットワーク体制の強化

◇ 災害ボランティア活動の推進

◇ 防災・減災推進事業

・ 島根県西部地震からの2年フォローラムの開催（参加者106名）

◇ しまね災害福祉広域支援ネットワークへの職員の登録及び派遣

・ 福祉専門職登録者数：5名（社会福祉士）

◇ 大田市ボランティアセンターにおいての被災者支援活動

相談件数 29件

活動件数 27件

（延べ活動日数：24日）

延べ活動者 242名

◇ 被災地支援活動の推進

（ひよりの会）

熊本県八代市地域支え合いセンターへ162セットのひより

バッグを送付

推進目標4 福祉の心・人材の育成

(1) 住民主体の地域福祉活動推進に向けた意識啓発と担い手の育成

（小学校）2校（実施回数5回）

対象者数 130名

（中学校）3校（実施回数20回）

対象者数 859名

（高校）2校（実施回数3回）

対象者数 141名

◇ ライフステージに応じた福祉教育の推進

・ あいサポーター運動受講者数 16名

(2) 福祉に関する情報提供及び啓発の推進

◇ 福祉用具の貸出

貸出件数 7件

（貸出し延べ台数9台）

◇ 点字・声の広報の発行

① 音訳広報の発行

（1回あたり12人に配布）

（発行内容）

・ 広報おおだ 年12回

・ 市議会だより 年4回

・ 社協だより 年6回

・ 身障の友大田 年2回

・ 暮らしの情報、健康診断や不燃物収集等の年間予定表 年1回

② 点字広報等の作成

推進目標5

権利擁護の推進

(1) 権利擁護体制の充実

◇福祉サービス利用援助事業
(日常生活自立支援事業の推進)
(県社協委託事業)

①支援計画作成

②利用状況及び相談件数

・利用件数 91件

・新規利用件数 16件

・終了件数 21件

・相談支援延件数 3,597件

③生活支援員研修会(参加者11名)

◇法人後見事業

・法人後見運営委員会の開催(2回)

・被後見人等に対する成年後見制度に基づく支援(財産管理・身上監護)

受任件数 5件

※新規受任件数2件

◇大田市成年後見支援センター事業

①大田市成年後見支援センター運営委員会の開催(4回)

②大田市市民後見人登録審査委員会(1回)

③市民後見人人材バンク交流会の開催(1回 15名参加)

④市民後見人の推薦

(11名 ※累計市民後見人32名)

⑤成年後見制度・私のあんしんノート出前講座の開催(2回)

⑥大田市成年後見支援センター相談件数及び専門職候補紹介数

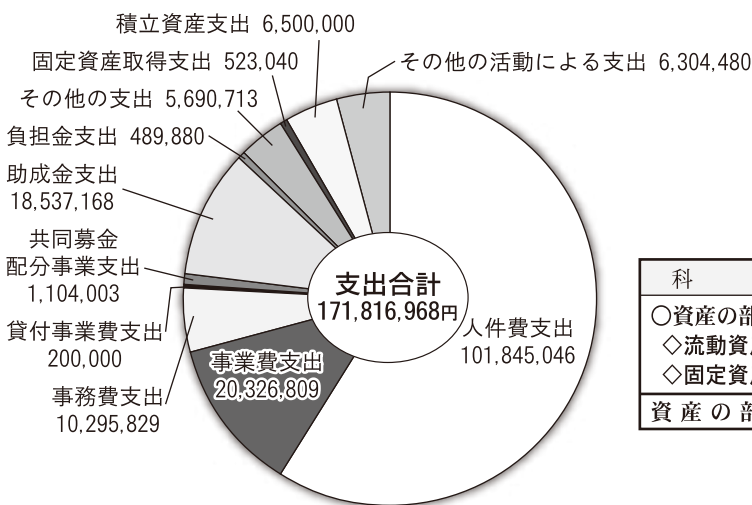
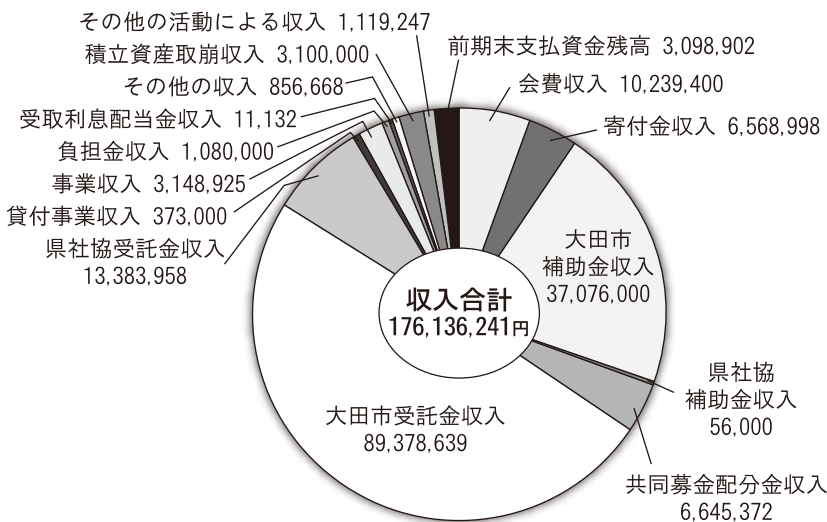
相談件数 13件

専門職候補紹介件数 6件

⑦出雲成年後見センターとの連携及び定例会への参加(4回)

資金収支決算

期間：令和2年4月1日から
令和3年3月31日まで
(単位：円)



当期末支払資金残高 4,319,273円

推進目標6

組織体制の強化

(1) 広報活動の充実

◇社協だよりの発行
(偶数月・年6回)

⑧ 関係機関との連携

(1) 市民後見人の監督及び推薦時の面接立会

(2) 家事関係機関との連絡協議会(ウェブ会議)へ参加

(3) 中核機関に関する松江家庭裁判所とのヒアリング及び大田市地域包括支援センターとの協議

(2) 事業推進体制の強化

◇ホームページによる情報提供(市社協アドレス：www.oida-shakyoin.jp)

◇理事会の開催(3回)

◇評議員会の開催(2回)

◇監査会の開催(1回)

◇評議員選任・解任委員会(1回)

◇職員の専門性向上と資格取得促進

・精神保健福祉士 1名資格取得

(3) 財源の確保

◇会員制度の周知と会員拡大
人口減少、世帯数減、自治会加入率の低下等の要因により、会費収入は微減

貸借対照表

令和3年3月31日
(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
○資産の部		○負債の部	
◇流動資産	16,037,514	◇流動負債	11,718,241
◇固定資産	180,152,258	◇固定負債	68,503,466
資産の部合計	196,189,772	負債の部合計	80,221,707
		○純資産の部	
		◇基本金	3,000,000
		◇国庫補助金等特別積立金	295,001
		◇その他の積立金	107,884,115
		◇次期繰越活動増減差額	4,788,949
		純資産の部合計	115,968,065
		負債及び純資産の部合計	196,189,772

社会福祉法人 大田市社会福祉協議会役員名簿

令和3年6月29日に開催した定時評議員会において新しい役員が選任されました。
また、同日に開催した新役員による理事会において、会長・副会長・常務理事が
選定されましたのでお知らせします。

任期：令和3年6月定時評議員会終結のときから
令和5年6月開催の定時評議員会終結のときまで

役 職	氏 名	役 職 等	
会 長	にし むら しゅん じ二 西 村 俊 二	大田市社会福祉事業団 評議員	再任
副 会 長	かわ はら ひで ゆき之 河 原 秀 之	温泉津地区社協 会長	再任
常務理事	ほり とおる 亨 堀	大田市社会福祉協議会事務局長	再任
理 事	え げ よし ひさ久 江 下 芳 久	学識経験者	再任
理 事	てら もと いさ こ子 寺 本 功 子	島根県男女共同参画サポーター	再任
理 事	いずみ はら しょう ぞう三 泉 原 省 三	NPO法人どんぐり 理事長	再任
理 事	もり やま けん しょう勝 森 山 賢 勝	社会福祉法人亀の子 理事長	再任
理 事	もち だ まき こ子 持 田 槿 子	点訳サークルたんぽぽ	再任
理 事	れん げ まさ はる晴 蓮 花 正 晴	学識経験者	再任
理 事	たか た りゅう いち一 高 田 龍 一	松江工業高等専門学校名誉教授	新任
理 事	ち の み せい じ二 知野見 清 二	行政書士	新任
理 事	いわ た か よこ子 岩 田 佳代子	保育士	新任
理 事	わ だ ゆ み こ子 和 田 由実子	社会福祉士	新任
理 事	ふな き み きお夫 船 木 三紀夫	大田市副市長	新任
理 事	うり さか なお ゆき之 瓜 坂 尚 之	社会福祉法人放泉会 理事長	新任
監 事	し みず まさる勝 清 水 勝	大田市議会議員	再任
監 事	みや もと まさ はる治 宮 本 正 治	学識経験者	再任

川合小学校の児童・邇摩高校の生徒を 対象に 福祉学習 を実施しました

7月1日、川合小学校の3年生を対象に、高齢者通いの場の訪問に際して、事前学習会を実施しました。

学習会は、川合町高齢者通いの場を運営されている川合地域ささえあい協議会との協働で実施し、森山祥朗生活支援コーディネーターより、高齢者通いの場の立上げから、現在に至るまでの取り組みなどをご説明頂きました。

さらには、特殊メガネを使用した白内障体験を行い、児童一人ひとりが高齢者通いの場についてや、「年をとること」について理解を深めることができました。



7月6日には、島根県西部視聴覚障害者情報センター、大田市石見銀山課と大森町熊谷家住宅の皆さんとの協働により、邇摩高校福祉系列の2・3年生が、点字による熊谷家住宅内の案内図や音声案内を作成し、視覚障がいのある方へ熊谷家住宅の歴史や魅力を伝えることを目的に実施しました。

当日は、熊谷家住宅の職員の皆さんにお話を伺い、視覚障がいのある方へ、熊谷家住宅の歴史や魅力をどのようにしたらお伝えすることができるのか、お伝えする際にはどのような工夫が必要なのか意見を出し合い、積極的な姿勢で学んでおられました。

また、熊谷家住宅の職員の皆さんも、視覚障がいのある方が気軽に熊谷家住宅へ来ていただけるよう手引きの講習を受講していただくなど、障がいに対する理解をより深める機会となりました。



シニアクラブ 情報局

催し

お知らせ

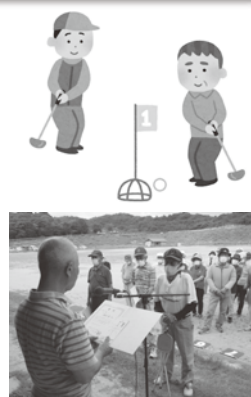
募集

第16回グラウンドゴルフ大会 - 県大会予選会 -

大田運動公園にて、グラウンドゴルフ大会を開催いたしました。当初は7月8日(木)の予定でしたが、雨天の為順延となり15日(木)の開催となりました。

参加チームの皆様やご後援頂いた島根中央信用金庫大田営業部の皆様には、急な順延にも関わらずご対応頂き誠に有難うございました。

大会の様子や結果は以下の通りです。



団体順位

優勝 福吉健康クラブ(川合町)
準優勝 朝寿会(朝山町)
第3位 ことぶき会A(大田町)
ホールインワン賞 20本

個人順位

優勝 松田 淳(福吉会)
準優勝 杉谷 有三(朝寿会)
第3位 神門 昇(ことぶき会)
第4位 馬庭 保夫(ことぶき会)
第5位 石飛 姣美(朝寿会)

告知

【県老連主催】令和3年度 まめなかいしまね グラウンドゴルフ大会

(11月10日
出雲ドームにて開催)

出場
チーム

○福吉会(川合町) ○朝寿会(朝山町) ○鳴り砂(仁摩合同)
○ことぶき会A(大田町) ○久利寿会(久利町)



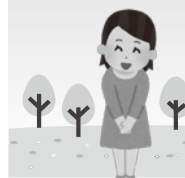
ずっとつながる
大田市シニアクラブ連合会

〒694-0064 大田市大田町大田イ128番地
TEL 0854-84-0266
FAX 0854-82-9960
月曜日・木曜日 8:30~17:00(祝日休)

ホッとつながる

島原麺(そうめん)ご協力のお礼

今年度も、島原麺ご購入のご協力ありがとうございました。還元金につきましては、シニア連の自主財源の一部に、充当させていただきます。



大田市シニアクラブ連合会 新役員就任のお知らせ

若手部代表兼副会長 中 村 隆 文(久利寿会)

女性部代表兼副会長 宇津田 公 子(加寿智会)

こんな活動をしています // (一部紹介) ※令和2年度実績

宅野 白寿会

会員数11名

白寿会では「支え合う仲間づくり事業」として、食と栄養の学習(料理教室)を開催しています。毎回10名程が参加し、食の学びと共に会食を楽しんでいます。



大田 ゴールドの会

会員数26名

「支え合う仲間づくり事業」として、毎月1回健康体操やダンス教室を開催し、通いの場・福祉施設の訪問、時には子どもたちとのふれあい交流も深めています。



大屋 寿会

会員数16名

「支え合う仲間づくり事業」として、定期的に軽スポーツ(健康ウォーキング・グラウンドゴルフ)を通して、毎回14名程度の参加者が、わきあいあいと健康づくりに励んでいます。



ご寄付ありがとうございます

大田市の地域福祉のために有効に活用させていただきます

(令和3年6月～令和3年7月受付分順不同・敬称略)

※社会福祉法人への寄付は、個人は所得税法または租税特別措置法寄附金控除、法人は法人税法上の損金算入が出来ます

○香典返し寄付

大田	北村	一美	杉谷	誠司
清水	俊哉	曾田	輝夫	
山崎	美智子	近藤	宏行	
古和	正敏	草野	秀幸	
俵	智子	松田	靖穂	
岡	裕士	松井	孝文	
杉本	洋一	土江	登	
松井	加功			
大野	達夫	小原	恭弘	
中村	伶司	福屋	昇	
上本	潔			
森井	一哉	坂根	博行	
小谷	知尚	石本	敏彦	
岩谷	一幸	宅和	義樹	
山下	導	山内	浩樹	
月森	豊	端本	達也	
松尾	茂夫	細田		
小椋	準一	釜田	達修	
高丸	和之	杉原		
天岡	雅也	小川	絹子	
楫野	正和	水上	章	
尾崎	史朗	野木	誠二	
佐野	佳治	山根	美恵子	
中川	雅彦	田中	智規	
宇谷	幸弘			
内田	信夫			
飯田				
飯島				

○一般寄付

松江市	一般社団法人島根県指定自動車教習所協会
大田	大築 和之
川合	山下 美明
池田	瓜坂 正之
朝山	岩谷 博
	尾崎 治代

以上、1,085,000円のご寄付をいただきました。また、古切手、プルタブも多数いただきました。

○食品・学生服等の寄贈

温泉津 和の会
石原 陽子
仁摩 武田 富子
大田市役所総務部危機管理課
ふれあいいきいきサロン介護予防活動実施団体交流会参加者の皆様
他多数の方々にご協力いただきました。

義援金へのご協力

ありがとうございます

寄付者一覧

※ご承諾をいただきました方のご芳名等を掲載させていただきます。

令和3年7月島根県大雨災害義援金

・灯 大田

本会にお寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通して被災地に送られます。

心のたより発行事業

この事業は、大田市民生児童委員協議会との共催で、大田市内にお住いの75歳以上のひとり暮らしの方、ご夫婦とも80歳以上の世帯に、暑中見舞いをお届けすることで、声掛け・見守り等の安否確認を行う事を目的に実施しています。

宛名書きは、担当地域の民生児童委員さんにご協力いただきました。

ハガキを受け取られた方からは、さっそくお礼の電話やお手紙をいただいております。



編集後記

毎日、暑く、過ごしにくい日々が続いています。そのような暑さを吹き飛ばすように、東京オリンピックで、日本勢の活躍が伝えられ、パラリンピックでの熱戦も期待されます。身近なところでも、県中学校野球やバレーボール大会の決勝戦が大田対決となるなど、子供たちの活躍に感動させられています。一方、今年7月の豪雨災害で被害があつ

た地域では、ボランティアも駆けつけ、復興に向けて作業に頑張っておられます。本会からも、職員が雲南市に向き運営スタッフとして活動しました。スポーツで、チーム一丸となつて勝利した等報道されますが、今回の災害からの復興も地域が一体となれば、住民の笑顔も戻ってくるのではないのでしょうか。まだまだ暑い日が続きますが体調に気を付けて過ごしましょう。(た)